

平成30年度 学校評価表(安来高等学校)

自己評価・・・達成指数100以上⇒評価A(目標達成)、達成指数80以上100未満⇒評価B(ほぼ達成)、達成指数80未満⇒評価C(不十分)

校訓	評価計画				自己評価				学校関係者評価		次年度への改善策		
	教育目標	重点目標	目標達成のための方策	担当 分掌	評価指標	目標値	評価値	達成 指数	評価	結果と課題		評価	委員からの意見等
(き)しくむらを律し (き)しくむらを律し (き)しくむらを律し (き)しくむらを律し (き)しくむらを律し (き)しくむらを律し (き)しくむらを律し (き)しくむらを律し	1 基本的な生活習慣の確立と、自主・自律の人格育成	生徒の基本的な生活習慣を定着させ、自主性、社会性を強化し、人格形成に資する文武両道を実現させる	朝の立ち番による挨拶・遅刻予防指導、頭髪・服装指導、登下校の交通マナー指導等を通して、規則正しい生活習慣及び校則を遵守する精神を育成する。	生徒指導	服装・頭髪・挨拶の指導が適切に行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.4	3.2	94.1	B	服装・頭髪の指導については計画的に取り組むことができたが、名札の適切な扱い等について課題を残した。挨拶については、学年進行で上級生ほどよくできている。	B	服装について、安高の生徒はきちんとしている。体育祭のヘアスタイルは気になった。	服装・頭髪/挨拶の指導については、生徒会からの呼びかけも含め引き続き計画的に取り組んでいく。体育祭(特に分団パフォーマンス)における一部女子の髪型については、今年度は対応が後手に回ってしまったので、次年度は第1回分団集会から指導し改善したい。
			生徒会執行部と各種委員会の主体的な活動を促し、諸行事において達成感を抱かせる。	生徒指導	生徒が主体的に学校行事に参加したと感じている評価値(生徒・保護者)	3.8	3.5	92.1	B	総務委員会が、生徒会執行部と一般生徒とを繋ぐ役割を相応に果たし、その結果として、多くの生徒の意見を反映したかたちで学園祭が実施されたのは良かった。ただし、いくつかの委員会では、その活動が比較的低調となっている。	B	軽微な事故の原因に、道路状況や信号がないなどのトラブルはないか。また、自転車の乗り方指導を実施してはどうか。	付近に暗い夜道となる箇所はあるが、「街灯」「防犯灯」も設置条件に合致しないとのことである。「自転車の乗り方指導」については、これまで以上に警察との連携を図ると同時に、交通安全委員会を活用して、生徒自身が交通安全に関する情報を発信し、問題意識の啓発ができるようにもってきたい。
			保健活動・生徒支援組織の運営を適切に行い、生徒の健康な心身を育成する	保健相談	保健室での相談・手当・休養が健康の保持増進に役立ったと感じている評価値(生徒)	3.2	3.2	100	A	保健室での休養は1時間とし、体調が回復しない場合は、早退し受診することを勧めている。ケガの場合は応急手当のみ行っている。	A	引き続き、生徒の支援に関する情報を、困っている生徒や保護者に提供してほしい。	活動が低調となっている委員会については、特に年度当初の段階での担当教員の「仕掛け」が必要となる。
			学習記録帳を活用した日々の指導を継続的にを行い、3点固定(起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻)を定着させる。	教務	12月の学習時間調査の結果から1週間の学習時間が1200分を超える割合(生徒)	40%	31%	77.5	C	基本的な生活習慣の確立が家庭学習の習慣づけや、授業に対する主体的な取り組みを促すと考え、「3点固定」を年間を通じて訴え、生活時間調査を行ってきた。	B	3点固定については、個々に設定時期が異なるため、評価をするのは難しいが、指導は継続していくことが望ましい。	生活を安定させることが学校生活を充実させることにつながるが、それに遅刻、欠席が減少しているのはよい傾向である。保健教育相談部との連携も視野に入れ、さらによい状況を目指していきたい。
	2 自ら学ぶ態度の育成と、学習指導の充実・強化	授業を充実させるとともに生徒に自学自習力を付けさせ、確かな学力を獲得させる	自立した学習態度を身につけさせる。	教務	十分な学習時間が確保されていると感じている評価値(保護者)	3.5	2.7	77.1	C	学校の重点目標、各教科の運営目標として継続して取り組んできている。一方で、部活動の負担が大きく、勉学との両立を不安視する保護者もいる。	B	評価が〇となっているが、学習時間を確保するという目標を投げかけ続けることが重要である。	学力向上のため、生徒に学習時間を確保させるのは前提であるが、それに遅く、学習内容を充実させたり、学習意欲を高めさせたりする指導を研究していく必要がある。教科主任会での情報交換を手始めとしたい。
			各種行事を成功させるため、生徒会執行部と各種委員会の主体的な活動を支援する	生徒指導	生徒の主体的な活動を支援していると感じている評価値(生徒・保護者)	3.8	3.5	92.1	B	総務委員会が、生徒会執行部と一般生徒とを繋ぐ役割を相応に果たし、その結果として、多くの生徒の意見を反映したかたちで学園祭が実施されたのは良かった。ただし、いくつかの委員会では活動が低調となっており、担当教員の側から種々活動のヒントを提示する等の支援を行う必要が認められる。	B	様々な場面で生徒が活躍している姿を見ることができた。	活動が低調となっている委員会については、特に年度当初の段階での担当教員の「仕掛け」が必要となる。
			生徒が学習と諸活動との両立ができるよう、教科担当や部顧問、生徒会顧問との連携を密にする。	生徒指導	文武両立を目指した学習指導や部活動指導が行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.2	91.4	B	保護者から、学習への取り組みに不安・不満を感じている旨の意見も出ているので、生徒の勉学と部活動との両立をさらに確固としたものとするよう、生徒指導部が中心となり、今以上に個々の生徒の実情について情報を共有しつつ指導にあたる必要がある。	A	部活動での目標を明確にするともに、リクリエーション的なサークル活動などを検討してみてもどうか。	レクリエーション的、と言えるかどうかは判断が、本校にも、(毎日ではなく)適宜活動している部、ことさら大会等に参加するわけではなく(あるいは参加する大会があるわけではなく)活動そのものを楽しみ、他者との絆や自己の教養を得ることを専らとしている部は存在する。
			部活動加入率を向上させ、地域と連携した活動と上位大会出場を推進する	部活動	部活動に加入している割合(生徒)	95%	87%	91.6	B	全体的に見ても高い数値であるが、部員数が少なく活動の継続が難しい部や、新チームの団体戦に参加できない部も出てきている。また、今年度については、第1学年生徒の加入率が低くなっている。	B	1年生の部活動加入率が減少したと聞いた原因究明と対策を願う。	部活動に入れない何らかの事情を抱えた生徒の多い学年だったとも考えられる。現1年生の部活動の課題は個々に対応しつつ、次年度新入生を上手く入部する方向にもっていくことに注力したい。
4 学校全体が動くキャリア教育と、その成果としての進路希望実現	人権意識を基盤とした個に応じた進路保障を推進する	生徒の人権、希望、能力、適性を尊重し、補習や小論文・面接指導などの個別的な個別指導を行う。	進路指導	個々に応じた進路指導がされていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.2	91.4	B	3年生については進路志望別に講座を設定して補習を行い、作文・小論文や面接試験の指導は個別に担当教員を割り当てて指導してきた。保護者に対する情報提供を活性化させる必要がある。	B	面接や小論文指導等、放課後遅くまできめ細かな指導に取り組んでもらっている。教員の働き方改革の観点から補習のあり方については検討すべきである。	生徒の目標達成のため、そして保護者の要望に応えるために、個別指導や補習は継続して行う。学校行事や他の校務および部活動とのバランスを考慮した補習計画を立てる。	
		保護者、地域、大学等との連携によりキャリア教育を充実させる	進路指導	キャリア教育が進路決定や文理選択に役立ったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.3	94.3	B	1学期は学年別の講演会を開き、2学期は県内の大学・専門学校や企業を進路希望別に見学したり、様々な職業の方に来校していただきお話を聴いたりする機会を持った。実施時期が集中しないよう計画する必要がある。	B	職業人講話は生徒にとっても刺激を得られるよい取り組みである。卒業生や保護者などの外部人材を積極的に活用して、生徒の進路意識を高めてほしい。	上級学校訪問や職業人講話については、事前指導や事後指導の時間を確保して、生徒の考えが深まるように継続して実施する。	
		各教科、分掌との連携により基本的な学習習慣を定着させる	進路指導	安心して進路目標に挑戦できる学力と向上心を醸成していると感じている評価値(教員)	3.5	3.2	91.4	B	生徒の進路希望と学力について把握し検討する機会を全ての学年において持ち、生徒への助言や指導方法の共有を図った。進路希望を学習意欲につなげる働きかけの強化が、1年生の段階から必要である。	B	大学受験の仕組みが変わり、高校での学びも変わる。早い段階から生徒や保護者にも情報提供してもらいたい。	生徒の進路希望調査と併せて、保護者がどのような情報を求めるかも調査を行うなどして、ニーズに応えた情報提供に努める。1、2年生が適切に進路目標の設定ができるように、具体的な学校紹介を行う。	
(目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち (目)標と信念を高く持ち	6 確たる人権尊重の意識を持ち、自らを大切にし他者を思いやる心の育成	自他を尊重する生徒の育成「美しい人間性と人間関係の形成」	人・同教推	人権を尊重する意識を育てる指導が適切に行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.2	91.4	B	キャリア教育、道徳教育、人権・同和教育の一体的な指導計画により、日常的に取り組んだ。その趣旨が学校全体に浸透するように、担当者間の連絡をさらに密にして、随時検証を行いながら取り組みたい。	B	いじめ等の対応について、しっかりと気を取り直し、対応していると思う。引き続き、早期発見早期解決をお願いしたい。	学年、教科、活動など様々な切り口を配り、対応していると思う。引き続き、早期発見早期解決をお願いしたい。	
		生徒、教職員の人権意識を高め、地域との連携を深める	人権・同教推	学校活動で人権を意識して行動する場面があったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.4	97.1	B	発達障がいや有する生徒の具体的な支援方法についての校内研修会や同和地区出身者による講演会を実施し、参加者の資質向上に努めることができた。生徒会人権委員会に働きかけ、学校内外の人権活動に取り組んだ。	B	次年度以降も継続して講演会や校内研修に取り組んでもらいたい。	焦点を絞って効果的学習が行えるように、LHRでの同和問題学習の内容の精選を進める。また同和問題以外の様々な人権課題についても、取り上げ学習する機会を設定したい。生徒会委員会活動へも引き続き積極的に働きかける。	
	7 開かれた学校作りと地域及び地域連携	開かれた学校づくりに向けた広報活動の充実	学校案内やホームページ、オープンスクール等、広報活動を充実させる。	総務	HPの月の更新数	3回	4.2回	140	A	トピックスについては、昨年以上の更新ができた。ブログのシステム不良により各部活動からのブログが発信できなかったため、トピックスで発信した。ただ保護者からは、もっと写真などをアップしてほしいという意見が見られた。	A	ホームページに進路関係の情報を掲載してはどうか。	保護者や中学生等に向けての情報をより充実したものにするためにホームページの内容を検討していく。
			本校の現状がわかるような情報が適切に提供されていると感じている評価値(保護者)	総務	3.5	3.0	85.7	B	ピンク色の紙に印刷し、保護者が確認できるよう努めているが、保護者の評価が徐々に下がっている。	B	ピンク紙での配布は効果的である。次は、生徒がきちんと保護者に渡すという意識付けが必要である。	様々な場面で、生徒への意識付けをしていく。また、保護者の方へ入学予定者説明会やPTA総会等を通して、本校の情報発信の仕方を説明していく。	
			PTA・中の海会・その他諸団体との連携による学校教育に対する信頼の醸成	総務	PTA総会の出席率(保護者)	25%	12%	48	C	総会の前に授業参観の機会を設けたり、総会後に出身別PTAを設定したりしている。出席率は昨年度よりポイント増であった。	C	出身中別PTAのあり方について検討すべきである。学年別のPTAを開催するのはどうか。研修委員会の奨学金ガイドは大変よい企画である。	来年度に向けては、出身別PTAについて検討していく。
			PTA清掃ボランティアの総参加者数(生徒・保護者・教員ほか)及びロードレース大会ボランティア参加者数(保護者)	総務	100名	79名	79	C	清掃ボランティアは、試験期間中であったため、生徒が参加できなかったため、参加者数が減っているが、保護者・教員数は例年並みであった。ロードレース大会には保護者の横のつながりで大勢の参加をいただいた。	C	平日に行われるロードレースのボランティアに多数の保護者が参加するのは素晴らしい。ロードレースのコースをアナウンスするとよい。	来年度も引き続き、保護者の方と相談しながら、参加しやすい、充実したPTA活動にしていきたい。	
	8 豊かな情操の涵養と、環境美化意識の徹底	保健活動・生徒支援組織の運営を適切に行い、生徒の健康な心身を育成する	朝の健康観察に基づく欠席者集計や保健室利用による生徒の状況把握と教職員への情報提供を徹底する。	保健相談	健康診断・治療勧告や保健室での相談、健康の保持増進に役立ったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.3	94.3	B	各種健康診断は計画通り実施できている。「保健だより」による情報発信・啓発も積極的に行った。	B	安高の子は、明るくて元気なのが魅力。保健室からの情報発信も今後も続けてもらいたい。	「保健だより」や職員室前廊下にある保健部の掲示板を使って情報発信・啓発を積極的に行う。
			図書利用のための広報活動の強化	図書情報	生徒の読書活動を活性化していると感じている評価値(教員)	3.5	3.1	88.6	B	教職員「ブックレビュー」、企画「ブックトーク」「学級文庫」、参加型行事「ビブリオバトル」、吹奏楽部共催「クリスマスコンサート」を実施した。	B	読書量が減っていることは課題である。スマホ等の活用や情報発信を検討してはどうか。	来年度はビブリオバトルを盛り上げて、読書量の増加につなげたい。生徒会が情報発信しているフェイスブックを図書委員会でも活用できないか検討したい。